



# ◆ 目次

## Navio インド債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	10
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇分配金のお知らせ	14
◇お知らせ	14

## 投資対象ファンドのご報告

◇アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラス	16
◇マネー・マーケット・マザーファンド	20

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		債権組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金	騰落				
	円	円	%	%	%	%	百万円
6期(2012年10月18日)	9,642	50	2.5	0.1	—	98.0	871
7期(2012年11月19日)	9,507	50	△ 0.9	0.1	—	98.0	859
8期(2012年12月18日)	9,853	50	4.2	0.1	—	98.0	890
9期(2013年1月18日)	10,677	50	8.9	0.1	—	98.1	966
10期(2013年2月18日)	11,200	50	5.4	0.1	—	97.8	1,013
11期(2013年3月18日)	11,373	50	2.0	0.1	—	97.8	1,037
12期(2013年4月18日)	11,675	50	3.1	0.1	—	97.9	1,068
13期(2013年5月20日)	12,342	50	6.1	0.1	—	97.9	1,130
14期(2013年6月18日)	10,678	50	△ 13.1	0.1	—	97.4	977
15期(2013年7月18日)	10,695	50	0.6	0.1	—	97.2	979
16期(2013年8月19日)	9,764	50	△ 8.2	0.1	—	97.7	893
17期(2013年9月18日)	9,792	50	0.8	0.1	—	97.3	897
18期(2013年10月18日)	9,963	50	2.3	0.1	—	98.1	915
19期(2013年11月18日)	9,841	50	△ 0.7	0.1	—	97.6	907
20期(2013年12月18日)	10,384	50	6.0	0.1	—	97.1	966
21期(2014年1月20日)	10,695	50	3.5	0.1	—	98.1	996
22期(2014年2月18日)	10,343	50	△ 2.8	0.1	—	97.7	990
23期(2014年3月18日)	10,484	50	1.8	0.1	—	97.5	1,004
24期(2014年4月18日)	10,747	50	3.0	0.1	—	97.2	1,067
25期(2014年5月19日)	10,962	50	2.5	0.1	—	98.0	1,097
26期(2014年6月18日)	10,975	50	0.6	0.1	—	98.2	1,142
27期(2014年7月18日)	10,876	50	△ 0.4	0.1	—	98.5	1,150
28期(2014年8月18日)	10,816	50	△ 0.1	0.1	—	97.9	1,149
29期(2014年9月18日)	11,373	50	5.6	0.1	—	98.2	1,188
30期(2014年10月20日)	11,185	50	△ 1.2	0.1	—	97.3	1,171
31期(2014年11月18日)	12,226	50	9.8	0.1	—	98.0	1,271
32期(2014年12月18日)	12,009	50	△ 1.4	0.1	—	97.7	1,250
33期(2015年1月19日)	12,324	50	3.0	0.1	—	97.3	1,287
34期(2015年2月18日)	12,389	50	0.9	0.1	—	97.6	1,302
35期(2015年3月18日)	12,591	50	2.0	0.1	—	97.4	1,334

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	率			
第30期	(期首) 2014年9月18日	円		%	%	%	%
	9月末	11,373	—	0.1	—	98.2	
	(期末) 2014年10月20日	11,480	0.9	0.1	—	97.7	
第31期	(期首) 2014年10月20日	11,235	△1.2	0.1	—	97.3	
	10月末	11,185	—	0.1	—	97.3	
	(期末) 2014年11月18日	11,477	2.6	0.1	—	97.3	
第32期	(期首) 2014年11月18日	12,276	9.8	0.1	—	98.0	
	11月末	12,226	—	0.1	—	98.0	
	(期末) 2014年12月18日	12,365	1.1	0.1	—	97.8	
第33期	(期首) 2014年12月18日	12,059	△1.4	0.1	—	97.7	
	12月末	12,009	—	0.1	—	97.7	
	(期末) 2015年1月19日	12,315	2.5	0.1	—	97.5	
第34期	(期首) 2015年1月19日	12,374	3.0	0.1	—	97.3	
	1月末	12,324	—	0.1	—	97.3	
	(期末) 2015年2月18日	12,449	1.0	0.1	—	97.9	
第35期	(期首) 2015年2月18日	12,439	0.9	0.1	—	97.6	
	2月末	12,389	—	0.1	—	97.6	
	(期末) 2015年3月18日	12,599	1.7	0.1	—	97.8	
		12,641	2.0	0.1	—	97.4	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

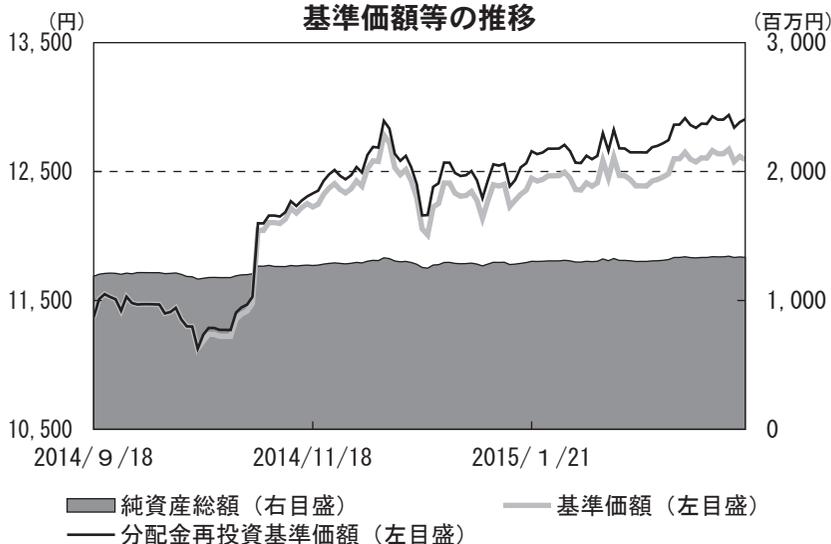
## 運用経過

## 当作成期中の基準価額等の推移について

(第30期～第35期：2014/9/19～2015/3/18)

## 基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ13.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

## 基準価額の主な変動要因

## 上昇要因

インド債券への投資による利子収益を獲得したことに加え、インドルピー建てのインド債券市況が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

(第30期～第35期：2014/9/19～2015/3/18)



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移  
(当作成期首を100として指数化)

## ◎債券市況

- ・インドルピー建てのインド債券市場では、当作成期首から2015年1月下旬にかけて、原油価格の下落などを背景にインフレが抑制され、金融緩和が実施されるとの観測が高まったこと、1月にインド準備銀行（中央銀行）が臨時的金融政策決定会合で政策金利の引き下げを発表したことなどが影響し、インドの金利は低下しました。当作成期末にかけてはもみ合いの展開となりましたが、当作成期を通じて見ると、金利は低下しました。
- ・米ドル建てのインド債券市場では、2014年11月下旬から1月中旬にかけて、原油価格の急落などを背景にリスク回避の動きが強まり、債券市況は下落しました。その後、原油価格に下げ止まり感が見られたことなどから債券市況は上昇に転じました。当作成期を通じて見ると、スプレッド（米国債に対する上乘せ金利）は拡大しました。

## ◎為替市況

- ・2014年10月下旬から12月中旬にかけて、日本で衆議院が解散されたこと、日銀が追加金融緩和策を発表したことなどを背景に、急激に円安が進行した結果、インドルピーも対円で上昇しました。その後、原油価格の急落などを背景にリスク回避の動きが強まり、インドルピーは一時下落しましたが、当作成期末にかけては、もみ合いながら緩やかに円安・インドルピー高が進行しました。その結果、当作成期を通じて見ると、インドルピーは対円で上昇しました。

### ◎国内短期金融市場

- ・ 当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年3月18日のコール・レートは0.075%となりました。なお、日銀は2014年10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### <N a v i o インド債券ファンド>

当ファンドは、円建て外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 J クラスへの投資を通じて、インドの債券などを高位に組み入れました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券（以下、マザーファンド）を一部組み入れた運用を行いました。

当作成期は、主にインドルピー建てのインド債券市況が上昇したこと、インドルピーが対円で上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は13.5%（分配金再投資ベース）上昇しました。

### <アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 J クラス>

基準価額は当作成期首に比べ14.5%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

### ◎種別構成

- ・ 当作成期は、インド関連の発行体が発行する米ドル建て債券やインドルピー建て債券などに投資しました。組入債券については、インド準備銀行の利下げ余地が大きいとの見方から、インドルピー建ての国債、事業債、政府機関債などを買増したほか、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）をやや長期化しました。米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物を売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを概ね回避しました。為替については、米ドル売りインドルピー買いの為替取引を行い、インドルピーの比率を高位としました。
- ・ 米ドル建て債券については、ファンダメンタルズが良好であり、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味があると考え、インド関連の発行体が発行する事業債を中心に、国際機関債を一部組み入れて運用しました。
- ・ インドルピー建て債券については、流動性などを勘案し、国債を中心に事業債や政府機関債などを組み入れて運用しました。  
その結果、主に円安・インドルピー高やインドルピー建てのインド債券市況の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

(ご参考)

**利回り・デュレーション**

作成期首（現地2014年9月17日）

最終利回り	5.3%
デュレーション	1.9年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

作成期末（現地2015年3月17日）

最終利回り	5.1%
デュレーション	2.8年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

**<マネー・マーケット・マザーファンド>**

基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。

- ・コール・ローンや現先など短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益が積み上がり、基準価額は上昇しました。

**当該投資信託のベンチマークとの差異について**

- ・当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2014年9月19日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月18日	2014年11月19日～ 2014年12月18日	2014年12月19日～ 2015年1月19日	2015年1月20日～ 2015年2月18日	2015年2月19日～ 2015年3月18日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.445%	0.407%	0.415%	0.404%	0.402%	0.396%
当期の収益	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,721	2,744	2,759	2,781	2,799	2,959

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <N a v i o インド債券ファンド>

- ・運用の基本方針にしたがって、引き続き円建て外国投資信託への投資を通じてインドの債券などを高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

### <アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラス>

#### ◎運用環境の見通し

- ・インドでは、今後も政府が補助金を削減し、財政健全化とともに、税収改革やインフラ整備などを含めた構造改革を進めていくと見えています。中長期的にはインフラ投資によって輸送網の整備が進めば、インフレの主要因の一つである食料需給が改善し、インフレの抑制に寄与すると考えています。また、原油をはじめとする商品市況の下落などによって、インド国内の消費者物価上昇率も低下していることから、インド準備銀行はもう一段の利下げを実施すると見えています。
- ・為替市場では、米国が利上げした場合、他の新興国通貨と同様にリスク回避的な動きから対米ドルで下落する可能性があるものの、インド準備銀行が為替介入などによって急激な変動を抑制すると見ていること、原油価格も当面大幅に上昇することがないと予想していることから、中期的には経常収支の改善やインド債券市場に対する資金流入の増加などが寄与し、インドルピーは対米ドルで上昇する余地があると考えます。

#### ◎今後の運用方針

- ・インドの債券などに投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合については、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。また、米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを回避します。
- ・当ファンドでは、引き続き相対的に投資妙味があると見ている中短期ゾーンのインドルピー建て債券を中心としたポートフォリオで運用する方針です。

### <マネー・マーケット・マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われそうですが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年9月19日～2015年3月18日)

項 目	第30期～第35期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 71	% 0.589	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.181)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(47)	(0.387)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.021)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	71	0.591	
作成期中の平均基準価額は、12,114円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2014年9月19日～2015年3月18日)

## 投資信託証券

銘柄		第30期～第35期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I 2 Jクラス	千口 3	千円 39,120	千口 2	千円 25,010

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年9月19日～2015年3月18日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;N a v i o インド債券ファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

区分	第30期～第35期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	6,400	2,599	40.6	4,300	700	16.3
現先取引(公社債)	14,480	5,350	36.9	14,530	5,350	36.8

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含まません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 900	百万円 -	百万円 -	百万円 900	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2015年3月18日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第29期末	第35期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I 2 Jクラス		107	108	1,300,729	97.4
合	計	107	108	1,300,729	97.4

(注) 比率はN a v i o インド債券ファンドの純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘	柄	第29期末	第35期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		885	885	901

## ○投資信託財産の構成

(2015年3月18日現在)

項	目	第35期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		1,300,729	97.0
マネー・マーケット・マザーファンド		901	0.1
コール・ローン等、その他		39,959	2.9
投資信託財産総額		1,341,589	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
	2014年10月20日現在	2014年11月18日現在	2014年12月18日現在	2015年1月19日現在	2015年2月18日現在	2015年3月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,192,114,208	1,279,122,958	1,258,310,182	1,296,249,750	1,309,278,781	1,341,589,473
コール・ローン等	51,512,025	32,561,985	35,909,775	42,312,295	36,890,125	39,958,413
投資信託受益証券(評価額)	1,139,700,431	1,245,659,157	1,221,498,586	1,253,035,614	1,271,486,825	1,300,729,227
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	901,683	901,771	901,771	901,771	901,771	901,771
未収利息	69	45	50	70	60	62
(B) 負債	20,240,149	7,659,221	7,654,435	8,276,558	6,715,172	6,785,039
未払収益分配金	5,238,775	5,199,833	5,207,047	5,225,630	5,256,897	5,300,718
未払解約金	13,744,043	1,297,964	1,179,759	1,709,215	179,389	271,859
未払信託報酬	1,253,923	1,158,275	1,264,193	1,338,072	1,275,415	1,209,175
その他未払費用	3,408	3,149	3,436	3,641	3,471	3,287
(C) 純資産総額(A-B)	1,171,874,059	1,271,463,737	1,250,655,747	1,287,973,192	1,302,563,609	1,334,804,434
元本	1,047,755,138	1,039,966,728	1,041,409,566	1,045,126,169	1,051,379,593	1,060,143,788
次期繰越損益金	124,118,921	231,497,009	209,246,181	242,847,023	251,184,016	274,660,646
(D) 受益権総口数	1,047,755,138口	1,039,966,728口	1,041,409,566口	1,045,126,169口	1,051,379,593口	1,060,143,788口
1万口当たり基準価額(C/D)	11.185円	12.226円	12.009円	12.324円	12.389円	12.591円

## ○損益の状況

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2014年9月19日～ 2014年10月20日	2014年10月21日～ 2014年11月18日	2014年11月19日～ 2014年12月18日	2014年12月19日～ 2015年1月19日	2015年1月20日～ 2015年2月18日	2015年2月19日～ 2015年3月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	7,558,100	7,644,074	7,986,636	7,795,755	7,884,068	8,369,479
受取配当金	7,556,494	7,642,739	7,985,220	7,793,958	7,882,538	8,367,873
受取利息	1,606	1,335	1,416	1,797	1,530	1,606
(B) 有価証券売買損益	△ 21,065,418	106,850,541	△ 24,264,027	31,503,274	5,472,896	19,390,761
売買益	117,344	107,967,261	11,081	31,537,017	5,481,298	19,422,385
売買損	△ 21,182,762	△ 1,116,720	△ 24,275,108	△ 33,743	△ 8,402	△ 31,624
(C) 信託報酬等	△ 1,257,331	△ 1,161,424	△ 1,267,629	△ 1,341,713	△ 1,278,886	△ 1,212,462
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 14,764,649	113,333,191	△ 17,545,020	37,957,312	12,078,078	26,547,778
(E) 前期繰越損益金	125,613,458	104,266,405	211,131,683	188,050,222	220,643,416	227,046,375
(F) 追加信託差損益金	18,508,887	19,097,246	20,866,565	22,065,115	23,719,419	26,367,211
(配当等相当額)	( 56,641,608)	( 57,437,555)	( 59,220,538)	( 60,659,134)	( 62,551,049)	( 65,453,038)
(売買損益相当額)	(△ 38,132,721)	(△ 38,340,309)	(△ 38,353,973)	(△ 38,594,019)	(△ 38,831,630)	(△ 39,085,827)
(G) 計(D+E+F)	129,357,696	236,696,842	214,453,228	248,072,653	256,440,913	279,961,364
(H) 収益分配金	△ 5,238,775	△ 5,199,833	△ 5,207,047	△ 5,225,630	△ 5,256,897	△ 5,300,718
次期繰越損益金(G+H)	124,118,921	231,497,009	209,246,181	242,847,023	251,184,016	274,660,646
追加信託差損益金	18,508,887	19,097,246	20,866,565	22,065,115	23,719,419	26,367,211
(配当等相当額)	( 56,641,608)	( 57,437,555)	( 59,220,538)	( 60,659,134)	( 62,551,049)	( 65,453,038)
(売買損益相当額)	(△ 38,132,721)	(△ 38,340,309)	(△ 38,353,973)	(△ 38,594,019)	(△ 38,831,630)	(△ 39,085,827)
分配準備積立金	228,553,079	228,011,984	228,162,679	230,067,672	231,795,617	248,293,435
繰越損益金	△122,943,045	△ 15,612,221	△ 39,783,063	△ 9,285,764	△ 4,331,020	—

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ① 作成期首(前作成期末)元本額 1,045,210,334円  
 作成期中追加設定元本額 62,695,488円  
 作成期中一部解約元本額 47,762,034円

## ② 分配金の計算過程

		第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
費用控除後の配当等収益額	A	6,300,792円	7,566,517円	6,719,032円	7,529,580円	7,129,159円	8,003,935円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	B	—円	—円	—円	—円	—円	14,220,785円
収益調整金額	C	56,641,608円	57,437,555円	59,220,538円	60,659,134円	62,551,049円	65,453,038円
分配準備積立金額	D	227,491,062円	225,645,300円	226,650,694円	227,763,722円	229,923,355円	231,369,433円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	290,433,462円	290,649,372円	292,590,264円	295,952,436円	299,603,563円	319,047,191円
当ファンドの期末残存口数	F	1,047,755,138口	1,039,966,728口	1,041,409,566口	1,045,126,169口	1,051,379,593口	1,060,143,788口
1万口当たり収益分配対象額	G=E/F*10,000	2,771円	2,794円	2,809円	2,831円	2,849円	3,009円
1万口当たり分配金額	H	50円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	I=F*H/10,000	5,238,775円	5,199,833円	5,207,047円	5,225,630円	5,256,897円	5,300,718円

## ○分配金のお知らせ

	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
1万円当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
  - ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
  - ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
  - ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
  - ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※2014年1月1日より、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」がご利用になれます。NISAをご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。

\*三菱UFJ投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

### [ お 知 ら せ ]

- ①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ④運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。  
(2014年12月1日)
- ⑤2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年3月18日現在）

## &lt;マネー・マーケット・マザーファンド&gt;

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体(2,128,803千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第35期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,050,000 (1,700,000)	2,050,152 (1,699,999)	94.6 (78.4)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (78.4)
合 計	2,050,000 (1,700,000)	2,050,152 (1,699,999)	94.6 (78.4)	— (—)	— (—)	— (—)	94.6 (78.4)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第35期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第509回国庫短期証券	—	300,000	299,999	2015/5/7
第510回国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/5/12
第512回国庫短期証券	—	1,100,000	1,100,000	2015/5/18
第331回利付国債(2年)	0.1	200,000	200,080	2015/8/15
第332回利付国債(2年)	0.1	150,000	150,073	2015/9/15
合 計		2,050,000	2,050,152	

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12 Jクラス	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主としてインドの現地通貨建て債券等に投資することにより安定した収益の確保および信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合には、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一発行体が発行する社債および短期金融商品への投資比率は、純資産総額の10%以下とします。</li> <li>・一銘柄あたりの投資比率は、発行残高の10%以下とします。</li> <li>・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。</li> <li>・純資産総額の50%以上を、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する債券または短期金融商品に投資するものとします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外貨建資産への投資は行いません。</li> <li>・有価証券先物取引等を行うことができます。</li> <li>・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。</li> <li>・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。</li> </ul>
決算日	原則として、毎年12月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として、毎月最終営業日に経費控除後の利子収益および売買益等から分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

損益計算書、投資家持分純資産、投資有価証券明細表はAMUNDI PREMIA-AMUNDI INDIAN BOND FUND FINANCIAL STATEMENTS 31 December 2013版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、アムンディ・インディア・ボンド・ファンドで掲載しています。

## (1) 損益計算書 (STATEMENT OF TOTAL RETURN)

### (A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2013年12月31日終了年度)

米ドル

収入	
現預金利息	—
その他収入	22,041
	<hr/>
	22,041
	<hr/>
控除：費用	
監査費用	11,419
カストディアン費用	6,420
運用報酬	44,526
助言費用	4,998
登録費用	7,650
信託費用	33,000
初期準備費用	—
取引費用*	330
その他費用	(2,145)
	<hr/>
	106,198
	<hr/>
純支出	(84,157)
	<hr/>
投資収益	
実現損益	(949,057)
外国為替先渡取引実現損	(244,387)
先物取引実現損益	180,056
外国為替取引実現損	(16,242)
	<hr/>
	(1,029,630)
	<hr/>
税引き前収益	(1,113,787)
	<hr/>
控除：所得税	(45,314)
	<hr/>
税引き後配当前収益	(1,159,101)

\*当ファンドは、2012年7月にシンガポール公認会計士協会が発行した会計実務勧告7「ユニットトラストの報告フレームワーク」(RAP 7)の推奨を、2013年1月1日より始まる会計年度から採用しています。修正RAP7によると、金融商品の売買に関わる全ての費用は収入から差し引かれます。適用初年度の移行措置として、比較対象とする数値の再分類は求められていません。

### (B) マネー・マーケット・マザーファンド

23頁の損益の状況をご参照ください。

(2013年12月31日終了年度)

## (2) 投資家持分純資産

米ドル

## 決算期初

前期表示額	14,701,073
修正RAP7採用の影響*	(87,289)
再計算額	<u>14,613,784</u>

## オペレーション

オペレーションにより変化した投資家持分純資産	(1,159,101)
------------------------	-------------

## 投資行動による投資家持分純資産の増減

設定	4,740,859
解約	(4,624,861)

設定解約による投資家持分純資産の増減	115,998
--------------------	---------

分配金額	(1,229,220)
------	-------------

投資家持分純資産の増加／（減少）合計額	<u>(2,272,323)</u>
---------------------	--------------------

決算期末における投資家持分純資産	<u>12,341,461</u>
------------------	-------------------

(3) 投資有価証券明細表

(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2013年12月31日現在)

業種別	保有額面	時価評価	投資家持分 純資産対比
		米ドル	%
<b>時価評価債券</b>			
<b>銀行</b>			
HDFC Bank Limited EMTN 3% 06/03/2018	600,000	578,289	4.69
ICICI Bank Limited 4.75% 25/11/2016	500,000	521,470	4.22
State Bank of India 4.5% 27/07/2015	600,000	619,686	5.02
		<u>1,719,445</u>	<u>13.93</u>
<b>電力</b>			
NTPC Limited EMTN 5.625% 14/07/2021	800,000	<u>798,740</u>	<u>6.47</u>
<b>金融</b>			
Power Finance Corporation Limited Series 89A 9.52% 02/05/2017	50,000,000	806,766	6.54
Rural Electrification 9.25% 27/08/2017	50,000,000	797,878	6.47
		<u>1,604,644</u>	<u>13.01</u>
<b>政府</b>			
Government of India 7.28% 03/06/2019	100,000,000	1,504,001	12.19
Government of India 8.07% 03/07/2017	100,000,000	1,590,979	12.89
Government of India 8.12% 10/12/2020	50,000,000	770,241	6.24
Government of India 8.19% 16/01/2020	100,000,000	1,554,094	12.59
		<u>5,419,315</u>	<u>43.91</u>
<b>石油ガス</b>			
Bharat Petroleum Corporation Limited 4.625% 25/10/2022	500,000	451,100	3.66
ONGC Videsh Limited 2.5% 07/05/2018	800,000	755,572	6.12
Reliance Holdings USA Incorporation 5.4% 14/02/2022	500,000	507,965	4.12
		<u>1,714,637</u>	<u>13.90</u>
<b>公益</b>			
Power Grid Corporation of India 3.875% 17/01/2023	500,000	428,350	3.47
未収経過利息		<u>359,342</u>	<u>2.91</u>
投資資産		12,044,473	97.60
その他純資産		296,988	2.40
投資家持分純資産		<u>12,341,461</u>	<u>100.00</u>

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

22頁の組入資産の明細をご参照ください。

# マネー・マーケット・マザーファンド

## 《第20期》決算日2014年11月20日

[計算期間：2014年5月21日～2014年11月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、11月20日に第20期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第20期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2014年5月20日	円 10,180	% —	% 84.7	% —	
5月末	10,180	0.0	88.4	—	
6月末	10,181	0.0	87.7	—	
7月末	10,181	0.0	84.1	—	
8月末	10,181	0.0	86.8	—	
9月末	10,182	0.0	82.4	—	
10月末	10,182	0.0	90.2	—	
(期 末) 2014年11月20日	10,183	0.0	84.3	—	

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

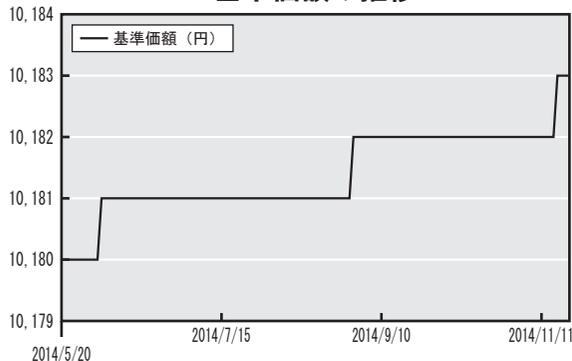
(注) 純資産総額は、期首2,716百万円、期末2,373百万円。

## 当期の運用経過

### ◆ 基準価額の推移

基準価額は期首に比べ0.03%の上昇となりました。

基準価額の推移



### ◆ 基準価額の変動要因

- ・当期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2014年11月20日のコール・レートは0.066%となりました。なお、日銀は10月31日にマネタリーベース増加額および資産買入れ額の拡大などの「量的・質的金融緩和」の拡大を決定しました。
- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。

## 今後の運用方針

### ◆ 運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持

することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

### ◆ 今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、引き続き残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

1 万口（元本10,000円）当たりの費用の明細

当期中に発生した費用はありません。

売買および取引の状況

(2014年5月21日～2014年11月20日)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	4,660,168	559,994 (4,400,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子は含まれておりません。)

(注) ( ) 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

組入資産の明細

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債の種類別開示

区分	当			期		末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)
合計	2,000,000 (1,350,000)	2,000,418 (1,350,056)	84.3 (56.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	84.3 (56.9)

(注) ( ) 内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内（邦貨建）公社債の詳細開示（個別銘柄別）

2014年11月20日現在

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
国債証券	第475回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/11/25
	第476回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/1
	第479回国庫短期証券	—	150,000	149,999	2014/12/15
	第481回国庫短期証券	—	200,000	199,999	2014/12/22
	第482回国庫短期証券	—	100,000	100,001	2015/1/8
	第486回国庫短期証券	—	100,000	99,999	2014/12/3
	第490回国庫短期証券	—	100,000	100,006	2015/2/9
	第492回国庫短期証券	—	100,000	100,008	2015/2/16
	第493回国庫短期証券	—	200,000	200,041	2015/2/23
	第326回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,060	2015/3/15
	第327回利付国債（2年）	0.1	100,000	100,038	2015/4/15
	第331回利付国債（2年）	0.1	200,000	200,144	2015/8/15
	第332回利付国債（2年）	0.1	150,000	150,120	2015/9/15
	合計			2,000,000	2,000,418

## 投資信託財産の構成

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,000,418	84.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	372,977	15.7
投 資 信 託 財 産 総 額	2,373,395	100.0

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

2014年11月20日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,373,395,647円
コール・ローン等	372,850,572
公社債(評価額)	2,000,418,450
未 収 利 息	78,819
前 払 費 用	47,806
(B) 負 債	869
未 払 解 約 金	869
(C) 純資産総額(A-B)	2,373,394,778
元 本	2,330,826,446
次期繰越損益金	42,568,332
(D) 受 益 権 総 口 数	2,330,826,446口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

## 損益の状況

(2014年5月21日~2014年11月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	520,435円
受 取 利 息	520,435
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	40,329
売 買 益	131,700
売 買 損	△ 91,371
(C) 当期損益金(A+B)	560,764
(D) 前期繰越損益金	48,112,637
(E) 追加信託差損益金	26,511,377
(F) 解約差損益金	△32,616,446
(G) 計 (C+D+E+F)	42,568,332
次期繰越損益金(G)	42,568,332

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
(注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

①期首元本額	2,668,018,452円	
期中追加設定元本額	1,459,518,984円	
期中一部解約元本額	1,796,710,990円	
②期末における元本の内訳 (当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)		
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド		245,571,395円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド (毎月決算型)		5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		22,407,722円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		170,286円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		126,013,765円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		231,818,919円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)		429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		11,926,122円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		679,345,083円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)		197,649円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)		1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド		3,156,423円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		1,490,575円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		446,819円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		2,188,822円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		614,937円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)		68,417,834円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)		3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)		35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,787,931円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		8,737,199円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		43,480,808円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		10,108,332円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		4,071,402円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		68,076,479円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		757,771円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)		1,232,040円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		138,108,832円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)		2,221,253円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)		2,971,153円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)		2,576,702円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)		3,148,614円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)		67,305円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>		13,171,200円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)		78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		3,143,477円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		2,669,954円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)		10,889円
新興国ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)		20,706円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)		98,368円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2012-11 (円ヘッジ) (限定追加型)		10,816,126円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)		89,100,298円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)		266,340円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)		472,643円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)		40,301円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (年2回分配型)		20,637円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)		2,438,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		7,176,471円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		1,071,498円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)		19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)		19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)		491,449円

三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	5,519,741円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	536,847円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	470,711円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	303,811円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	100,461円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	1,475,717円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドB>	980,118円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	983円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回りCBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米ドル建て担保付貸付債権オープン<為替ヘッジあり> (3ヵ月決算型)	3,445,331円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	41,258円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	633,556円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	235,745円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	1,565,662円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	320,205円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	18,797,761円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	3,312,052円
Navio インド債券ファンド	885,566円
Navio マネープールファンド	3,999,901円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネープールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAMトビックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	124,156,095円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
合計	2,330,826,446円